

# 大分市西部海岸地区 魅力創造拠点施設形成基本構想

～賑わいと豊かな自然・文化が共存する誰もが魅力を感じる空間の創造～



令和4年3月改訂

大分市

## はじめに



本市は東九州の中核都市として発展を続けており、近年は東九州自動車道の開通、「JR おおいたシティ」や「大分県立美術館」などがオープンし、交通結節点の強化と交流拠点の形成を推進しています。今後は「ラグビーワールドカップ 2019」、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催が控えるとともに、大分駅周辺の開発事業を推進していくこととしており、国内外からの交流人口の増大とその持続を目指す大きな機会を迎えます。

本市ではこの機会を活かすために、大分市総合計画などに観光振興や地域資源の活用といった内容を位置づけ、取り組みを進めているところです。中でも本構想の対象地区である「西部海岸地区」は「高崎山」や「柞原八幡宮」などの豊かな自然・文化に囲まれ、「大分マリンパレス水族館うみたまご」や「高崎山自然動物園」をはじめ、様々な観光・レクリエーション施設が集積しており、本市の交流人口の拡大や魅力創造を牽引する地区です。

このような機会と状況を踏まえ、西部海岸地区の魅力さをさらに高め、観光客の増加などの新たな賑わいを創出するとともに、豊かな自然・文化との共存を図り、誰もが魅力を感じる空間を創造するために「大分市西部海岸地区魅力創造拠点施設形成基本構想」を策定しました。

本構想では、「地域資源を活用した観光の促進」、「来訪者と市民が集える憩いの場の形成」、「地域特性に応じた自然・景観の形成」の3つの基本方針を掲げたうえで、西部海岸地区を3つのエリアに分け、新たな憩い・交流拠点施設の整備など各エリアにおける具体的な施策を示しています。

今後は本構想に基づき、それぞれの施策について具体化に向けた取り組みを進め、魅力ある空間の創造とにぎわいあふれる大分市を創造してまいります。

結びに、本構想の策定にあたり、熱心なご議論をいただきました協議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見を頂きました市民の皆様並びに関係各位に心から感謝申し上げます。

平成 30 年 7 月

大分市長 **佐藤 樹一郎**

## <目 次>

	ページ
1 本構想の目的と位置づけ	1
1.1 構想の目的	1
1.2 本構想の位置づけ	1
2 本市の上位・関連計画	2
2.1 上位・関連計画の把握及び整理	2
3 地区の現況把握及び整理	19
3.1 西部海岸地区の資源	19
3.2 社会的・自然的条件の把握	21
3.3 観光の状況と観光に関する意向	53
3.4 各観光施設の施設概要	63
3.5 地区の現況総括	70
4 各個別計画を具体化する上での課題の整理	72
4.1 地区別の課題	72
4.2 西部海岸地区の魅力創造の課題	74
5 魅力創造の方針の検討	77
5.1 基本方針の設定	77
5.2 エリア別の方針の設定	78
資料編	86
大分市西部海岸地区魅力創造拠点施設形成検討協議会 審議経過	86
大分市西部海岸地区魅力創造拠点施設形成検討協議会 委員名簿	87